

平成26年度学力向上マニフェスト

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要(実施内容)	評価指標 取組指標 (教師側の指標) 成果指標 (子ども側の指標)	予算執行	取組の成果	評価
○教員の授業力向上プロジェクト ・学び合う授業への改善 ・技能指導の改善	基礎的基本的な知識や技能を習得させるために、児童が興味を持って意欲的・能動的に学習に取り組む授業をつくる方法について研修を行う。	児童が課題を理解して、課題解決に向かい、知識技能を学べる授業を構成できているか。課題解決に取り組む児童に対して、適切な支援ができているか。 児童が問題を解決するために、自分なりに教具を操作したり解決方法をノートに書いたりして、答えを導き出す学習が、できているか。			
○学習習慣の向上・定着 ・学習規律の向上 ・学習環境の改善、整備	授業を学習の場とするための、基本的な授業規律、学習習慣の形成を図り、各授業時間における学習活動の向上を期す。 合わせて、教室を学習の場に相応しくするための環境整備を図る。	授業時間の有効な活用をするために、定時開始と定時終了、学習の場としての教室環境整備、児童の学習規律の指導により、学習活動の質的向上ができているか。 チャイム着席、正しい姿勢での座り方、机上整理など、学習しやすくするためのルールを守っているか。			
○確かな学力の向上・定着 ・ドリル学習で技能向上 ・応用・発展問題へのチャレンジ ・校内漢字・計算検定の実施 ・補習学習の実施	授業での学習活動が、知識面、技能面、思考力・判断力の3観点からバランスよく行われるように、昨年度、特に不足している技能面での学習を重点化する。	授業づくりにおいて、技能に類する学習時間を確保する。そのうえで、技能の質向上を図るよう指導の改善を行う。 漢字や計算・作図が確実に正確にできるようになったか。			
○家庭での学習習慣の定着 ・自学ノートによる自学自習	家庭学習ノート 自分で自分に必要な学習を決めて、学年に応じた量を毎日書いてくるノートを配布し、全校で実施する。 優れた自学ノートを前項に紹介し、参考にできるようにする。	児童の意欲に着目し、それを認め、励まし、導く指導法を習得する。毎日、ノート点検と励ましのコメント記入を行う。 人に言われてする学習ではなく、自分がやりたい学習、自分にとって必要な学習を自らの判断で行う自律性を養う。ノート提出率75%以上を目指す。			
○図書館を活用した調べ学習の推進	学習に図書館を活用する 各学期に1回は図書館の図書を使って調べ、まとめる学習をする。それにより、学習内容の理解を深めると共に、自分が知りたいことを自分で調べられるようにする。	教科や総合的な学習の時間に、児童一人一人が課題をつかめるようにし、図書館で課題解決する方法を教え、活動できるようにする。 自分が知りたいことや調べたいことを図書館の図書を使って調べてまとめることができる。			

【評価】 成果指標の達成度から評定(A・B・C)を決める
A:達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する B:達成度が9割未満5割以上 → 継続実施 C:達成度が5割未満 → 目標の見直し